

PASPYの廃止に伴う呉市生活バスへの新乗車券システムの導入について

1 背景と目的

広島電鉄株式会社（以下「広電」といいます。）から、平成20年に導入した広島県内の主なバス、路面電車等で利用できるPASPY（交通系ICカード）について、令和7年3月までに運用を廃止し、スマートフォンに表示させたQRコード又は新しい専用ICカード（以下「専用ICカード」といいます。）を認証媒体とする乗車券システム（以下「新乗車券システム」といいます。）の運用を開始するとの発表がありました。

呉市生活バスにおいても、現在、広電から移管を受けた路線等、大半の路線においてPASPYを導入しておりますが、今後、利用者の広電バスと呉市生活バスとの乗り継ぎの利便性を確保する観点などから、新乗車券システムを導入することとします。

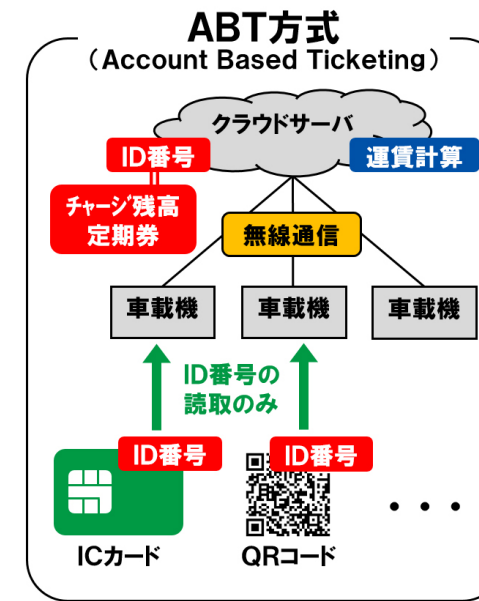
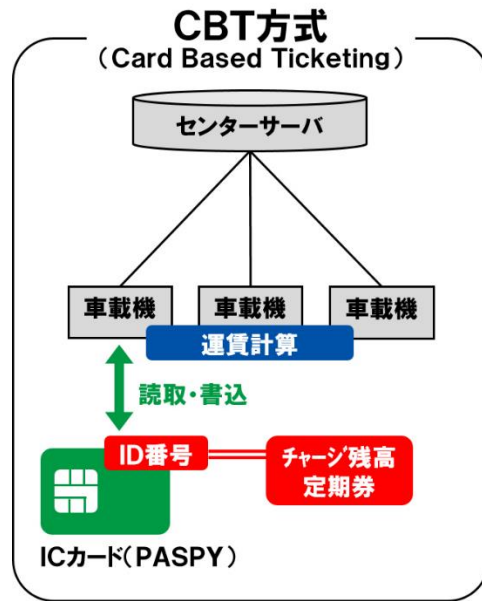
2 呉市生活バスにおけるPASPYの利用状況

PASPYは、平成20年のサービス開始から15年が経過しており、現在では、呉市生活バスの9割強の利用者がPASPYを利用しています。

呉市生活バスの利用者数（令和4年度実績）			
総数	運賃支払方法別の内訳		
	PASPY	PASPY以外の交通系ICカード	現金
870,302人	795,754人 (91.4%)	32,202人 (3.7%)	42,346人 (4.9%)

3 PASPYと新乗車券システムの概要

	PASPY	新乗車券システム
仕組み	<ul style="list-style-type: none"> 車載機でICカードのID番号、チャージ残高などを読み取って運賃計算を行い、ICカードに更新情報を書き込み保存するカード管理型のC B T方式のシステムであり、車載機側で計算処理が行われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 認証媒体となるQRコードや専用ICカードの固有ID番号とひも付いた利用者情報（チャージ金額、定期券情報等）をクラウドサーバで管理するセンター集約型のA B T方式のシステムであり、車載機側ではID番号の読み取りのみが行われ、運賃計算は無線通信によりクラウドサーバ側で行われる。



会員登録等

・ 不要

- ・ 利用者自身のスマートフォンでダウンロードした専用アプリケーション又はパソコン等からアクセスしたWebサイトでの会員登録が必須であり、クレジットカード又は広島銀行の預金口座（以下「銀行口座」といいます。）とのひも付けが原則必要となる。
- ・ スマートフォンやパソコン等による会員登録ができない場合は、広電の営業所窓口において会員登録を行う。

運賃決済の流れ

・ PASPYのID番号を車載機が読み取り、PASPY内のチャージ額から運賃を引き去る。

- ・ スマートフォン専用アプリケーションのQRコード又は専用ICカードのID番号を車載機で読み取り、クラウド上のチャージ額から運賃を引き去る。
- ・ QRコード又は専用ICカードで運賃を支払うためには、会員登録時にひも付けたクレジットカード又は銀行口座からクラウド上にチャージしておく必要がある（専用ICカード利用者については、広電の営業所窓口において現金をクラウド上にチャージすることも可能。）。

4 呉市生活バス車載機の更新

新乗車券システムの導入に伴い、現在、呉市生活バス車両に搭載している機器を当該システムに対応する機器に更新する必要があります。

5 会員登録等に係る手続の支援及び利用方法の説明

新乗車券システムの利用に当たっては、原則として、利用者自身のスマートフォンやパソコン等から会員登録をした上で、クレジットカード又は銀行口座とのひも付けが必要となることから、広電と協力して会員登録に係る手続の支援及び利用方法の説明を行います。

6 スケジュール（案）

項目	令和5年度									令和6年度									令和7年度					
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
新乗車券システムの導入	事業者との協議、導入日程調整等									車載機更新、データ整備等									PASPYの運用廃止					
	PASPYの運用																							
																			新乗車券システムの運用					